山弓連会報　さんきゅうれん　平成6年度　第1号　平成6年7月7日発行

山弓連

平・六年
第一号

佐野（称号）8中でV

……段位別選手権大会……

4月17日、県営弓道場で開催。さきに渡辺良堆先生から寄贈していただいた優勝杯をめざしての選手権大会。全日本選手権大会と関東選抜大会の一次予選をもかねるとあって、白熱した戦がくりひろげられた結果、次の通り入賞者がきまった。

種別	順位	氏名	的中
女子	①	秋山真紀（甲府）	5中
	2	山下真由美（東山）	5中
	3	標　衣枝（東山）	4中
初段以下	①	佐野松雄（西八）	5中
	2	加々美晶世（吉田）	4中
	3		
2.3段	①	坂田茂一（甲府）	6中
	2	荒井紀彦（吉田）	5中
	3	浅野光男（北巨）	5中

4段	①	雨宮正裕（東山）	6中
	2	雨宮哲（東八）	6中
	3	中込実（中巨）	6中
5段	①	綿奈部博史（甲府）	7中
	2	小俣太一（大月）	6中
	3	深沢勇（中巨）	5中
称号	①	佐野辰巳（西巨）	8中
	2	坂本武敏（東山）	7中
	3	内藤幸雄（甲府）	6中

各種別一位（○印）に渡辺杯授与。但し、これは持ちまわり。来年度大会にはお忘れなく持参のこと。

遠的大会

5月22日石和清流館で開催。参加者は女子8名、男子24名。昨年に比べて、男子参加者がふえたのが心強い限り。的中率も、やや上向きという感じ。入賞者は次の通り。↓

順		氏名	的中
女子	1	井上みゆき（中巨）	7中
	2	小松富士子（甲府）	6中
	3	姫野幸子（東山）	3中
男子	1	塩島健二（西八）	8中
	2	深沢勇（中巨）	8中
	3	深沢武重（中巨）	6中

勤労者選手権大会

第41回全日本勤労者弓道選手権大会が、6月10～12日福島県は、会津藩校日新館弓道場（白虎隊ゆかりの地）で開かれた。それに先立って、その県予選会が4月10日に行われ、松下電器22中、横河電機20中、東電A20中という接戦の末、松下、横河の両チームが県代表となって本大会に出場した。本大会での成績は左の通り。

○一次予選（10中以上通過）
松下電器　8中（落選）
横河電機　12中（通過）
※92チーム中　44チーム通過。
横河は10位タイ。
○二次予選（上位16チーム通過）
横河電機　9中（落選）

惜しくもトーナメント戦進出は成らなかった。ザンネン。

各大会出場者（県代表）

左記各大会に山梨県代表として出場する選手が、それぞれ二次にわたる予選会の末、決定した。

▨全日本選手権大会（8/24 伊勢）
男子　佐野辰巳　河西伊三男
女子　秋山照美　標　衣枝

▨ねんりんぴっく（10/22～24 琴平）
男子　伊藤昇　塩田裕雄
内田徳美　内田武春
坂崎正樹
女子　藤巻昭子　坂崎満子

▨関東選抜大会（9/4 千葉）
有段　白須吉人　深沢勇
坂田茂一　中込実
小俣太一
称号　高部保延　塩島健二
伊藤昇　内藤幸雄
佐野辰巳

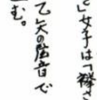
皆さん　ガンバッテ!!

中央審査 昇段続々

昨年に引き続いて、ことしも、昇段のアタリ年か。現在までに次の方の昇段・昇格が決定した。日頃の地道な精進と努力がここに実ったもの。おめでとうございます。

七段　河西伊三男（京都 五月）
教士　西堀泰弘（〃 〃）
六段　広瀬邦秋（横浜 〃）
錬士　渡辺孝三郎（〃 〃）
〃　松田恭昭（岐阜 六月）

年度後半の審査でも皆さんがんばって下さい。



急告

中央審査受審者の皆さんへ

一次審査の入場のしかたがかわります

弓道誌6月号で既にご承知かとも思いますが、標記のことについて日弓連から指示があったのでお知らせします。新方式は次の通り。

1. 前立ちの5番甲矢の弦音で入場する。
2. 本座に於いて揃って揖をした後、男子は「肌ぬぎ」女子は「襷さばき」を行う。
3. 前立ち5番の乙矢の弦音で立って射位に進む。

おめでとう

新七段　河西伊三男さん

「白根の河西」といえば知らない者はいない。その堂々たる体躯と豪快な射と、そして、どの大会でも必ず上位入賞する正確な的中とで、早くから山梨弓道のホープと目されていたが、この度、みごとに七段合格した。若冠41才。農林高校時代にも、国体、インターハイ等に出場し、現在も国体成年選手として活躍中。大成を期待してやまない。貴川JA勤務。

新教士　西堀泰弘さん

甲府工高弓道部で弓を始め、インターハイ、ミニ国体に出場。更に、57年からかいじ国体まで5年連続国体（成年）出場し、島根国体では近的3位入賞した。一時停滞していた山梨の弓道の力を、全国レベルにまで引き上げるキッカケをつくった選手のひとり。国体選手引退後は甲府支部で後進の指導にあたると共に、自らの射技の錬磨に励み、今回、念願の教士に到達。益々の精進を祈るや切。昭和20年生まれの49才。JR甲府信号通勤務。

新六段　広瀬邦秋さん　70才

弓歴は古い。昭和25年東電弓道部に入会。古屋道場で修練に励んだ。その後、久田範士、福原範士の指導を受け、52年錬士。北連副会長を勤めるとともに、国体成年監督として、昭和54年～59年国体出場。島根国体では遠・近入賞を果たした。将来をおおいに嘱望されていたが、60年突然体調を崩して手術・入院――現在は回復して山梨学院大弓道部コーチをつとめる。永年の功労が今回の推薦につながった。

新錬士　渡辺孝三郎さん

昭和42年、古屋道場に入門以後、青沼道場、青葉道場で修練に励む。まじめな人柄にふさわしい努力が実って58年5段に昇段。また甲府支部の副支部長、支部長を歴任して、後進の指導にあたると共に連盟運営にも献身した。特に、甲府青葉弓道場建設にあたっては部内のまとめに当局との渉外に日夜を分かたぬ努力をして、その結果今日の大甲府支部をつくり上げた。昭和2年生れ。[illegible]

新錬士　松田恭昭さん

昭和61年に弓を始め、トントン拍子に昇段して、今回みごとに錬士の称号を受けれた。スピード出世。しかし、その熱心な稽古ぶりと、ひたむきな研究態度は「求道の力が[illegible]」と賞賛する声が多い。願わくは今後自らの体験を生かして後進の指導と連盟運営にいっそうの力を発揮されんことを。法務省[illegible]の国家公務員。昭和20年生れの49才。

事務局から

第一号の発行がたいへんおそくなってしまいました。申しわけありません。3月以来、連盟の活動はどんどん進んでいくし、周囲の花の色も、桜から桃へ更につつじ、あやめへと、次々と変っていくのに、事務局の周囲だけが全くのモノクロの世界で困っていましたが、この頃ようやく少し色が見えるようになりました。ご迷惑をかけたことを深くお詫びします。

事業局業務分担変更

事務局業務の能率化を図るため、先日の理事会、評議員会の了承を得て、次のように分担業務の変更をすることになりました。提出書類等の宛先は、今後、これにそえてお願いします。

●県審査に関すること、外（申し込み、登録）
古屋　俊彦
●ねんりんぴっくに関すること
橘谷　三田力
古屋俊彦

中央審査申込書の様式変更について

従前の様式による申込書は使えません。新しい用紙は事務局にありますので、必要な方は申し出て下さい。尚、支部でまとめてほしい場合は、一冊（100枚綴）500円であっせんします。

右の申込書は、県連事務局で処理する部分が多くなったので、今後は「現地〆切日の15日前」までに提出されるようお願いします。